



ノダグループは、木を活用した心地よい空間づくりによって社会に貢献しながら、着実な成長を目指します。

代表取締役社長

野田 励

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第89期中間連結会計期間(2025年12月～2026年5月)の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

2026年8月

営業の概況

住宅業界においては、建築費の高騰や住宅ローン金利の上昇、職人不足などを背景に住宅需要の低迷が続いており、当中間連結会計期間の新設住宅着工戸数は前年同期比2.5%減となりました。一方で、木造の貸家は同1.8%増と比較的堅調に推移いたしました。また、合板については、実需不足により国内相場は期初から弱含みで推移しておりましたが、第2四半期に入ると中東情勢を背景とした供給への懸念などから上昇基調へ転じました。

このような事業環境のもと、当社グループは、住宅需要が低迷するなかでも新規顧客の獲得や既存顧客との取引深耕を図るため、内装建材シリーズ「カナエル」をはじめとする建材製品の付加価値提案を強化し、販売拡大に努めました。また、合板やMDF(中質繊維板)などの素材については、市場の需要動向を踏まえた機動的な生産調整と在庫管理を実施するとともに、コストに見合った適正な販売価格の設定に努めました。

さらに、中東情勢の緊迫が長期化することで、接着剤、塗料、梱包資材など石油化学製品の調達環境悪化が懸念されるなか、必要な資材の確保と安定した生産体制の維持に努め、製品の安定供給を継続いたしました。加えて、原材料や製造工程の見直し、配送効率の向上、固定費のコントロールなどを継続的に推進し、生産性の向上やコストアップの抑制に取り組みしました。しかしながら、長引く住宅需要の低迷により販売数量が伸び悩むなか、収益性は著しく低下いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高31,916百万円(前年同期比0.2%減)、営業損失341百万円(前年同期は営業利益32百万円)、経常損失613百万円

(前年同期は経常損失100百万円)となりました。また、投資有価証券売却益の計上等により、親会社株主に帰属する中間純利益231百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失367百万円)となりました。

●セグメント状況●

＜木質建材事業＞

2026年4月より「カナエル」の一部リニューアルを実施し、設計価格の改定に加え、新柄の追加など市場のニーズに対応した製品強化を行うことで、建材製品の付加価値向上と販売拡大に努めました。また、木造集合住宅等における生活音対策として、軽量・重量いずれの床衝撃音も低減する木造遮音・防火工法「シャーオン」の提案を強化するとともに、防音フロアの販売拡大を図りました。MDFについては、耐震性能や透湿性能に優れた「HBW」(構造用ハイベストウッド)の提案活動を推進いたしました。

これらの取り組みにより、新築戸建市場におけるシェア拡大に加え、貸家分野やリフォーム・リノベーション分野での需要獲得に努めました。あわせて、連結子会社の(株)ナフィックスおよび(株)アリモト工業との連携を強化し、材工(施工付き販売)の拡大や非住宅案件の受注拡大を推進いたしました。

しかしながら、住宅需要の低迷が続くなか、建材製品およびMDF製品全般の販売数量は回復に至らず、原材料・副資材価格や物流費の上昇も重なったことから、収益性は低下いたしました。この結果、木質建材事業の売上高は19,669百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は176百万円(同60.2%減)となりました。

＜合板事業＞

合板については、国内需要の低迷が続くなか、国産・輸入ともに販売数量は低水準で推移いたしました。

国産針葉樹合板については、国内在庫の過剰感から販売競争が激化し、販売価格は期初から緩やかな下落傾向で推移いたしました。しかし、第2四半期に入ると、中東情勢に伴う接着剤等の供給不安を背景に販売価格は上昇基調へ転じ、特に5月は上昇幅が拡大いたしました。

輸入南洋材合板についても、同様に販売価格は緩やかな上昇基調となりましたが、円安等による仕入コストの上昇が続くなか、需要の低迷により十分な価格転嫁には至らず、採算面では厳しい状況が継続いたしました。

この結果、合板事業の売上高は12,246百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント利益は427百万円(同25.3%増)となりました。

配当について

当期の中間配当金につきましては、これらの業績や配当の基本方針等を総合的に勘案し、1株につき15円(前期の中間配当金に比べ、3円の減配)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第89期中間期 営業報告書

株式会社ノダ

証券コード：7879

ビジョン2030

木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ノダグループは、持続的に成長し社会に貢献する企業であり続けるため、以下の通り経営理念を定めます。

【企業理念】

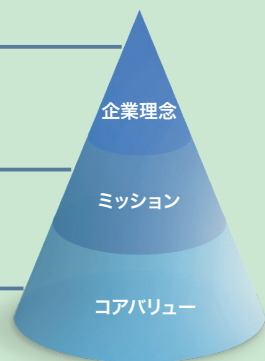
主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

【ミッション】社会に果たすべき使命

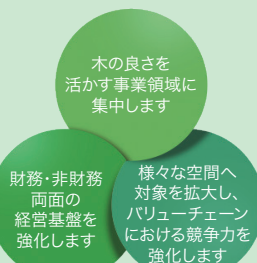
- 木の良さを活かして快適な空間創造に寄与します
- 木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献します

【コアバリュー】理念実現のための共通の価値観

共生・誠実・しんか(深化・進化・伸化・新化)



【ビジョン2030実現のための経営戦略】



【理念実現のための基本姿勢】



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

～木をムダなく使い、持続可能な森林循環に貢献～

私たちは、自らの事業を通じて、SDGsの17ある開発目標のうち以下の目標を達成するために、グループをあげて取り組みます。



目標 11

「住み続けられるまちづくりを」

誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。



目標 12

「つくる責任つかう責任」

持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。



目標 13

「気候変動に具体的な対策を」

気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などグリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。



目標 15

「陸の豊かさを守ろう」

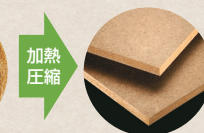
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

1. MDFを製造

再生資源・未利用資源である廃木材のチップを繊維化・加熱・圧縮してエコ素材のMDFを製造しています。優れた構造強度や高い耐久性を持っている高耐水MDF(構造用ハイベストウッド)により、より快適な住まいを実現できます。



木質チップを木材繊維へ



エコ素材MDF



構造用ハイベストウッド(MDF)施工例

地震に強い
壁倍率
4.0倍

2. 国産材を使用

日本で育てられた木を積極的に使用しています。循環型資源形成を目指し、環境保全、CO₂の削減、資源保護に貢献しています。

国産針葉樹合板

3. 間伐材を使用

間伐によって木はまっすぐ充分に成長し、森林に水源かん養機能の向上や土砂崩れの予防など様々な効果もたらされます。

国産針葉樹合板やMDFの原料として間伐材を積極的に利用することで、間伐材の安定した受け入れ先となり、健全な森林の整備の促進に貢献しています。



適度な光が差し込み木々の健全な生育環境が保たれます

4. 安全に暮らせるまちづくり

合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を、防潮堤の資材として海岸防災林の再生に活用いただくことで、自然災害のリスクを低減させ、より安全に暮らせるまちづくりに貢献しています。

防潮堤
芯材使用状況

カ・ナ・エ・ル
Canaeru

驚きと喜びを、すべての空間に。

どんな場所でも心がふっと軽くなるような心地よさを。デザインと機能により日常に寄り添う「驚き」と「喜び」、使いやすさ、心地よさ、そのすべてが、「あ、いいな」と感じる瞬間へ。そんな暮らしの未来をかなえる内装建材シリーズです。

2026年4月にリニューアルを行い、色や柄のバリエーションを大幅に増やし、お客さま一人ひとりの「こうだったらいいのにな」という思いに寄り添い、しっかり応えるラインアップに進化しました。



快適な心地よさをかなえるデザイン



上品さとクールさが映えるデザイン



素朴で温もりを感じるデザイン



個性的な空間を演出するデザイン

リニューアルポイント

- ①全23色へ色柄ラインアップを拡充し、さまざまなニーズに対応
- ②Cデザインに中間色2色と、Rデザインにグレイジュートーン3色をラインアップ
- ③アイアンやモルタルなど、注目の異素材柄が新登場
- ④CデザインとRデザインが同価格帯になり、サイズ変更も気軽に可能

※詳細は当社ブランドサイトをご参照ください。



当社ホームページ
(ブランドサイト)

～静岡県・静岡県富士市と協定締結～

2026年3月13日、当社は静岡県が策定しました「しずおか木使い推進プラン」に呼応し、「しずおか県産材利用促進協定」を締結いたしました。

本協定は、企業・団体と県が連携して民間建築物における県産材の利用を促進することを目的としています。当社は本協定のもと、静岡県産材の合板やフロア台板への活用等、用途を開発・拡大することで、持続可能な林業経営や林業施業推進に一層貢献してまいります。



当社ホームページ
(静岡県との協定締結)



2026年3月27日、当社は静岡県富士市と「地域活性化起業人制度（企業人材派遣制度）による派遣に関する協定」を締結いたしました。

本協定は、富士市産木材のブランド強化や地域活性化に貢献することを目的として、当社より「木材活用推進アドバイザー」として人材を派遣して取り組むものとなります。



当社ホームページ
(静岡県富士市との協定締結)



連結財務諸表(要旨)

会社概要・株式情報 (2026年5月31日現在)

連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	第89期 中間期末 2026年5月31日現在	第88期 前期末 2025年11月30日現在
資産の部		
流動資産	41,839	43,667
固定資産	29,360	29,139
有形固定資産	17,736	17,756
無形固定資産	297	359
投資その他の資産	11,325	11,023
資産合計	71,200	72,807
負債の部		
流動負債	22,651	23,177
固定負債	9,427	10,079
負債合計	32,079	33,256
純資産の部		
株主資本	29,142	29,829
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	1,587	1,587
利益剰余金	27,271	27,275
自己株式	△ 1,858	△ 1,174
その他の包括利益累計額	4,560	4,227
非支配株主持分	5,417	5,492
純資産合計	39,120	39,550
負債純資産合計	71,200	72,807

連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	第89期 中間会計期間 2025年12月 1日から 2026年 5月31日まで	第88期 中間会計期間 2024年12月 1日から 2025年 5月31日まで
売上高	31,916	31,995
売上原価	25,596	25,503
売上総利益	6,319	6,491
販売費及び一般管理費	6,661	6,458
営業利益又は営業損失(△)	△ 341	32
営業外収益	79	70
営業外費用	351	202
経常損失(△)	△ 613	△ 100
特別利益	1,052	3
特別損失	13	111
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	425	△ 208
法人税、住民税及び事業税	157	125
法人税等調整額	17	△ 11
中間純利益又は中間純損失(△)	250	△ 322
非支配株主に帰属する中間純利益	18	45
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	231	△ 367

会社の概況

会 社 名 株式会社ノダ
本 社 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号
設 立 1938年1月8日
資 本 金 21億4,100万円
従 業 員 数 1,027名(連結1,763名)

役員

代表取締役社長	野田 励	取 締 役	渡 邊 慎 也
代表取締役専務	野田 四 郎	社 外 取 締 役	塩 坂 健
常 務 取 締 役	高津原健太郎	社 外 取 締 役	高 井 章 光
取 締 役	宮 田 佳 明	常 勤 監 査 役	長谷川倫源
取 締 役	良 知 正 啓	社 外 監 査 役	三 浦 悟
取 締 役	新 美 泰	監 査 役	上 原 敏 彦
取 締 役	天 岸 知 樹	社 外 監 査 役	春 山 直 輝
取 締 役	服 部 裕 仁		

営業拠点

北海道(札幌市)、旭川、帯広、青森、北東北(盛岡市)、東北(仙台市)、郡山、東京(台東区)、千葉、柏、埼玉(さいたま市)、高崎、宇都宮、茨城(水戸市)、横浜、厚木、西東京(八王子市)、甲府、新潟、長野、静岡、沼津、浜松、名古屋、三重(鈴鹿市)、三河(岡崎市)、岐阜、北陸(金沢市)、大阪、京滋(京都市)、兵庫(神戸市)、中四国(広島市)、北九州、大分、福岡、長崎(諫早市)、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄(那覇市)、他

ショールーム

東京都台東区、仙台市、横浜市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市

工場

静岡県静岡市、静岡県富士市

連結子会社

石巻合板工業株式会社	：宮城県石巻市
アドン株式会社	：静岡県静岡市
株式会社ナフィックス	：東京都台東区
アイビーエムサービス株式会社	：宮城県石巻市
株式会社アリモト工業	：鹿児島県鹿屋市
PT. SURA INDAH WOOD INDUSTRIES (スラインダー社)	
：インドネシア	

持分法適用関連会社

SANYAN WOOD INDUSTRIES SDN. BHD.(サンヤン社)
：マレーシア

株式の状況

発行済株式の総数 17,339千株 (自己株式2,694千株を含む)
株 主 数 5,055名

個人その他	金融機関等	その他の国内法人	外国人	合計
61.3%	23.4%	10.6%	4.7%	5,055名
10,630千株	4,048千株	1,845千株	815千株	17,339千株

株主メモ

事 業 年 度	12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	2月
基 準 日	定時株主総会 11月30日 期 末 配 当 金 11月30日 中 間 配 当 金 5月31日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して定めます。
単 元 株 式 数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告掲載新聞	日本経済新聞

《株式に関する手続きのお申し出先について》

●証券会社等へ当社株式を預けたいだいている場合
当社株式を預けたいだいている各証券会社等にお申し出下さい。なお、未払配当金の支払い、支払明細発行については、下記「みずほ信託銀行株式会社」の郵便物送付先、電話お問合せ先、お取扱店をご利用下さい。

●証券会社等へ当社株式を預けたいだいていない場合(特別口座)
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先／電話お問合せ先)
〒168-8507東京都杉並区和泉2丁目8番4号
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
(お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※)
(※)トラストラウンジではお取り扱いできません。

ホームページ、公式SNSのご案内

ノダの最新情報やお役立ち情報をご提供します

ノダ ホームページ	公式Facebook	公式Instagram
		
	@NODA_corporation	@noda_corporation

ホームページ : <https://www.noda-co.jp>
Facebook : <https://www.facebook.com/NODACorporation/>
Instagram : https://www.instagram.com/noda_corporation/

